

WEST LIFE

校長の目

令和8年1月21日(水)



明日から3日間は、私立高校入試中心日です。多くの3年生が受験します。朝、生徒たちの表情を見ると、妙にリラックスしている子、ちょっとピリピリしている子、落ち着きなくそわそわしている子、様々な様子が見られました。そんな雰囲気を感じてか、国語の先生は、生徒たちの気持ちを和らげるために、ちょっとしたクイズを行っていました。同じ問題を出すにしても、クイズという場面にするだけで、楽しい空気感をつくり出すことができます。「古今和歌集の作者は?」、「細雪の作者は?」、「二葉亭四迷は江戸時代の作家である。○か×か?」、「『する』の活用形は?」など、いかにも受験に出そうな問題をランダムに出していきました。クイズであれば、不正解であっても笑い飛ばせます。先生の粋な計らいで、緊張していた生徒たちの心も少し和んだのではないのでしょうか。



昼休みにも3年生が職員室前にやってきて、先生を囲んで話が盛り上がっています。何を話しているのかと思ったら、試験会場には何分前に到着すればいいのかという話題です。これまで進路指導集会等で、「試験会場には30分前に着くこと」と指導されていますが、「20分前ではダメなの?」と言って先生を困らせていました。ついには、「校長先生、試験会場には何分前に着けばいいんですか?」と尋ねられたので、「うん、30分前だね」と即答すると、「そっかー」と納得してくれました。

日常生活において、30分前に行動することはめったにないかもしれませんが、受験は何が起きるかわかりません。日頃と違う行動になるからこそ、余裕が必要です。不測の事態が生じて慌てないためにも、30分前行動は理にかなっているのです。

5時間目は、明日に向けた直前進路指導が行われました。資料をもとに、用意すべきこと、心構え、万が一の時の対応など、丁寧に確認していきました。「もう、何回も聞いたよ」という表情をしている生徒もいましたが、それぐらいでよいのです。前述したように、不測の事態が生じることもあります。先日の修学旅行は電車が止まってしまい、新幹線に間に合いませんでした。修学旅行では、先生たちがなんとかしますが、受験は自分自身でなんとかしなければなりません。担任の先生も、「ひょっとしたら、電車が止まってしまうかもしれない。時刻表は、予定している電車の前後も調べておくように。」と助言していました。「もし、〇〇だったら…」と想定しておくことは、生きる上でのリスク管理として大切な思考です。これまで努力してきたことを悔いなく発揮するためにも、準備は怠らず、人任せにせず、気を引き締めて本番を迎えてほしいと思います。がんばれ受験生!



1月21日~22日は、私立高校入試対応のため、「WEST LIFE 校長の目」は、お休みします。